

令和7年度ヨーロッパザラボヤ等付着情報（第4報）

令和7年11月6日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

- ・ヨーロッパザラボヤの付着数は前回調査（9月）より増加しました。
- ・フジツボ類の幼生の採集数は前回調査（9月）より増加しました。

<調査方法>

- 1 調査日：令和7年10月28日（前回調査：9月25日）
付着器投入期間：9月25日～10月28日（前回調査：8月16日～9月25日）
プランクトンネット曳網日：10月28日（前回調査：9月25日）
- 2 調査場所
・山田湾 大島南端 西微南480m付近
- 3 調査方法
・ザラボヤ等付着状況調査
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ（1mm以上）、ユウレイボヤ（1mm以上）、フジツボ類の付着数を計数。
付着器9枚（3水深×3枚）に付着した数を平均したものを平均付着数とした。
・フジツボ類幼生発生状況調査
北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

<調査結果>

- ・ザラボヤ等付着状況調査
10月28日の水深5、10、15m層の水温は、表1のとおりでした。透明度は、12m（9月25日 9m）でした。
ヨーロッパザラボヤの付着器への平均付着数は表2のとおりで、前回調査より増加しました。
ユウレイボヤの付着器への平均付着数は33.9個体/枚で、前回調査と同程度でした（図1）。
フジツボ類の付着器への平均付着数は36.9個体/枚で、前回調査と同程度でした（図1）。
- ・フジツボ類幼生発生状況調査
フジツボ類幼生は30.2個体/m³で、前回調査（5.0個体/m³）よりも増加しました（図1）。

表1 5、10、15mの水温

	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日
5m	20.0 °C	24.7 °C	22.2 °C	18.7 °C
10m	13.4 °C	23.5 °C	21.7 °C	18.7 °C
15m	12.2 °C	22.5 °C	21.6 °C	18.7 °C

表2 ヨーロッパザラボヤの平均付着数

	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日
5m	11.3 個体/枚	0.3 個体/枚	2.0 個体/枚	10.7 個体/枚
10m	4.7 個体/枚	0.0 個体/枚	1.0 個体/枚	9.3 個体/枚
15m	38.3 個体/枚	8.3 個体/枚	0.0 個体/枚	0.3 個体/枚
平均	18.1 個体/枚	2.9 個体/枚	1.0 個体/枚	6.8 個体/枚

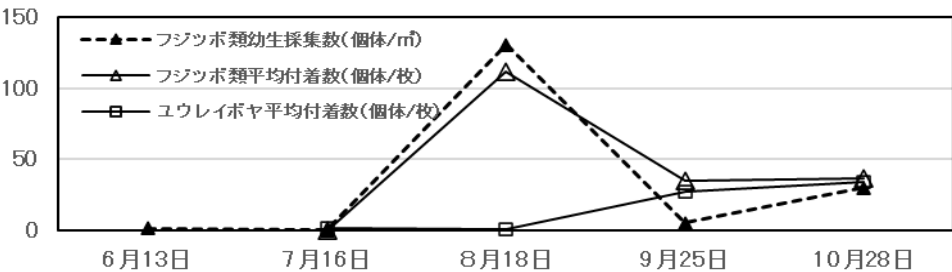


図1 フジツボ類幼生採集数、フジツボ類及びユウレイボヤ平均付着数

お問い合わせ先
担当 増養殖部 田中
電話 0193-26-7917